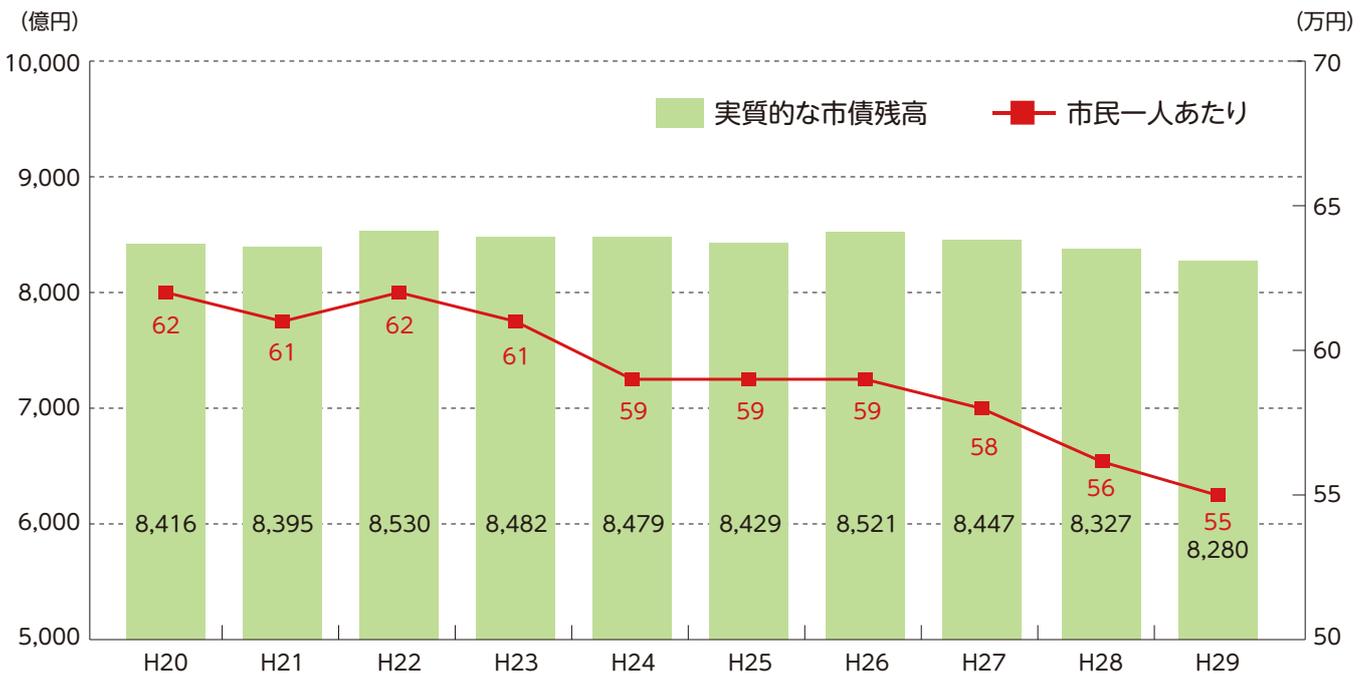


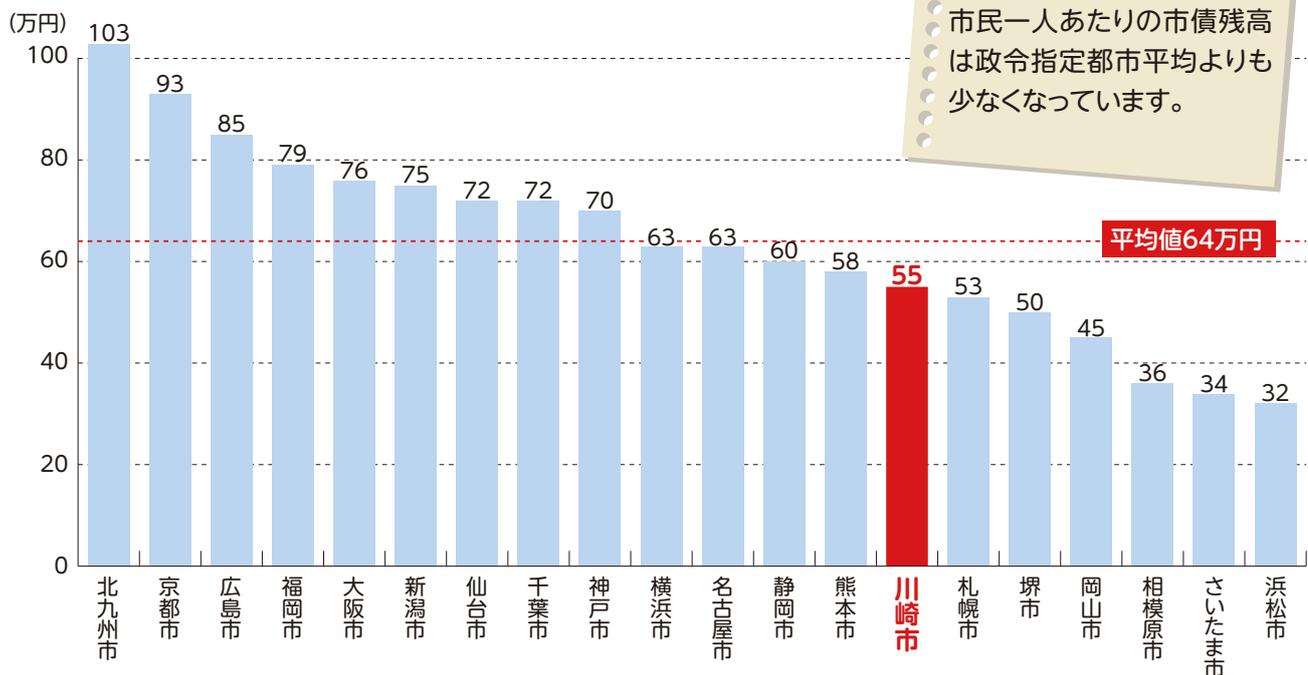
市の将来像を確認しながら 借入金のバランスを考えています。

市債の残高はどうなっているの？

実質的な市債残高と市民一人あたり残高の推移
(普通会計決算額)



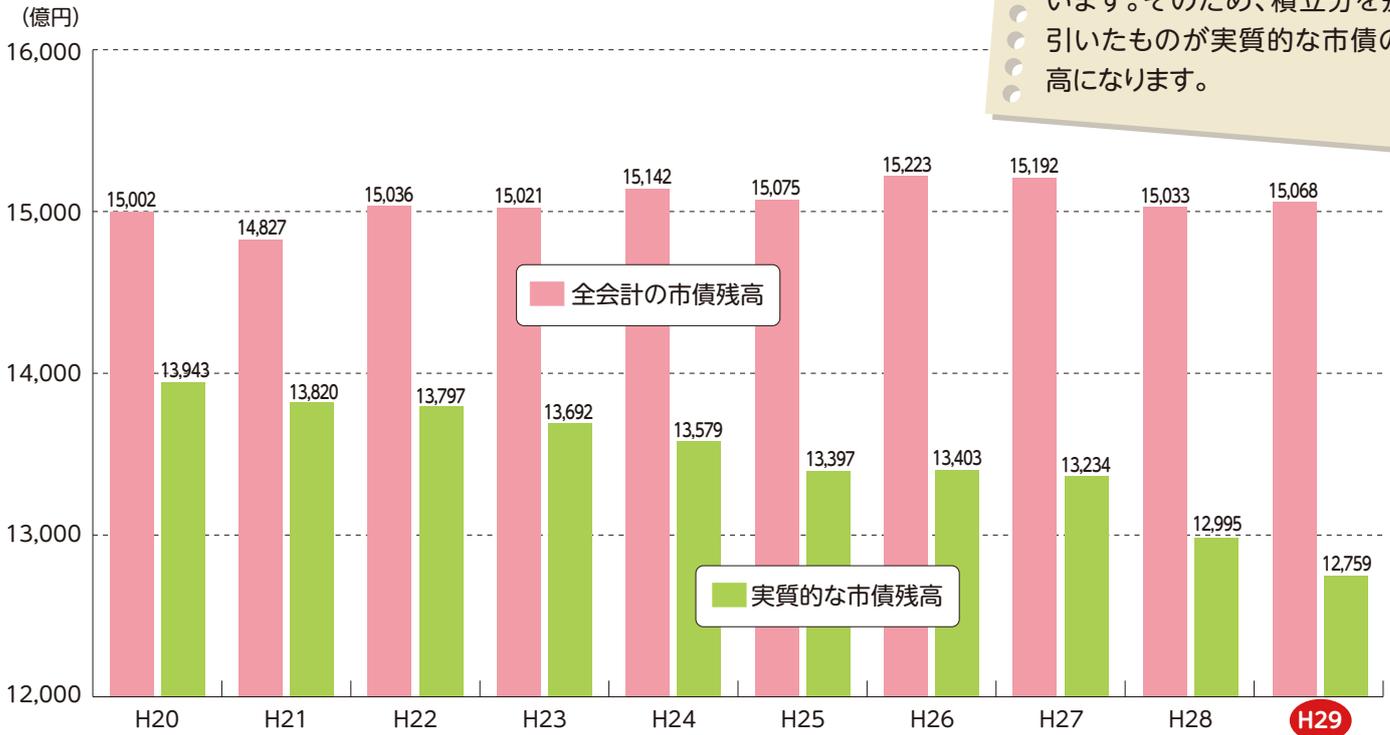
政令指定都市市民一人あたりの実質的な市債残高
(平成29年度 普通会計決算)



市民一人あたりの市債残高
は政令指定都市平均よりも
少なくなっています。

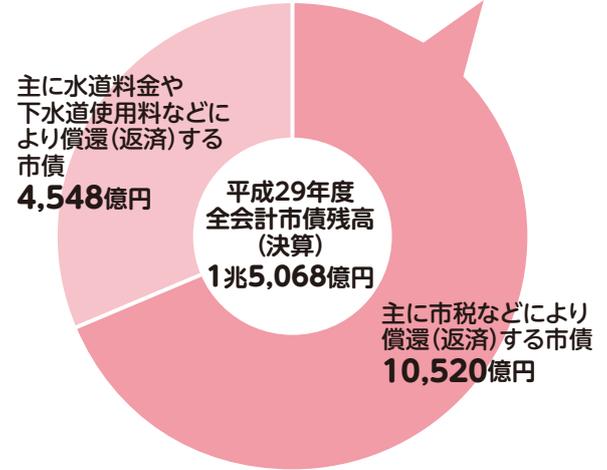
全会計の「実質的な」市債残高は？

全会計の市債残高の推移



市債の償還(借金の返済)を計画的に行うために、積立を行ってあります。そのため、積立分を差し引いたものが実質的な市債の残高になります。

実質的な市債残高は減少傾向にあります。次世代の市民に大きな負担にならないよう、将来への負担を明らかにして事業を行い、計画的に借入れをしていくことが大切です。



財政の健康診断

財政状況をチェックする4つの指標

地方自治体は、平成19年度決算から財政の健全性を判断するための4つの指標を公表することが法律で義務づけられました。川崎市でもこの指標でチェックした結果、どの指標においても財政状況は健全な状況を持っています。

実質赤字比率	一般会計などの実質的な赤字を示すもの
連結実質赤字比率	全会計の赤字や黒字を合算し、全体の赤字の程度を示すもの
実質公債費比率	長期の借入金やこれに準じた経費の額の大きさを指標化し、実質的な元利償還費の水準を示すもの
将来負担比率	一般会計等借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での額の程度を指標化し、将来的に財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すもの